

日本近現代史をひもとく講座 1

# — 日本と朝鮮の交流を学ぶ —

NHK ドラマ「坂の上の雲」（司馬遼太郎原作）が2009～2011年に放映されました。このドラマでは、近代日本の朝鮮・中国、アジアへの侵略と植民地支配、そして軍国主義への歩みの事実をほとんど描かず「小さな国の開花期」「日本史上まれな楽道家たち」の物語として視聴者に提供されました。

今、安倍内閣は河野談話、村山談話を実質的に否定し「戦争法」による海外でのアメリカが起こす戦争への加担、沖縄の米軍新基地建設強行などへの方向へ向かっています。未来を担う子どもたちを育てる教育にも、歴史の真実を覆い隠し侵略と加害の事実を否定し、皇国史観に立つ中学校社会科教科書を採用させようとする攻撃が強まっています。

このような今、かつて日本の植民地支配に苦しめられた、隣国朝鮮との関係を、郷土のすぐれた人権弁護士であり、朝鮮民族との友好運動の先達、布施辰治の業績にふれながら「日本と朝鮮の交流を学ぶ」ことは、大変意義のあることだと思います。是非、皆さんお誘いあわせのうえ、ご参加されますよう、ご案内いたします。

<講師> 庄司捷彦さん：布施辰治顕彰会副会長  
弁護士（庄司捷彦法律事務所）  
石巻市在住

と き： 7月10日（金）18：00～20：00

ところ： 仙台市市民活動サポートセンター 研修室5

参加費： 500円

主催：ドラマ「坂の上の雲」を考える会  
（問い合わせ tel. 022-231-1720 里見）